

## 地域づくりの方向 ⑤

# みどりのネットワークを 形成する環境のまち

### ..... 地域づくりの方向の概要 .....

- 自然環境や生活環境と地域の発展とが調和し、地球環境にやさしく、魅力ある清潔で美しいまちを目指します。
- みどりの活動拠点づくりを行うとともに、身近なみどりを増やし、いのちと暮らしを支え、生物多様性を守ります。
- 区民が主体的に取り組むみどりの価値を再認識する仕組みを整備します。
- 水・エネルギー資源等の有効利用、3Rや適正なごみ処理など環境に対する取組を総合的に展開し、循環型社会への転換を進めます。



# みどりの創造と保全



## 政策の概要

- 規模の大きな公園は、アート・カルチャー活動の拠点としての機能を高めていきます。
- 地域のみどりの重要な資産である街路や公共施設等の緑化を推進するとともに、みどりと広場のネットワークを形成し、多くの人に喜んでもらえるまちづくりを進めます。
- 区民、事業者、学校など、地域の多様な主体が相互に協力しながら「みどり」をつくり、見守る体制を整備します。

### 政策と施策の構成

#### 5-1 みどりの創造と保全

5-1-1 みどりの活動拠点の創造・育成【重点施策】

5-1-2 みどりのネットワークの形成

## 施策5-1-1 みどりの活動拠点の創造・育成

### 目指すべきまちの姿

SDGsを踏まえた2030年に実現するまちの姿



- 個性と魅力溢れる池袋駅周辺の4つの公園を核として、周辺の民間施設やグリーン大通りなどと連携し、国際アート・カルチャー都市のメインステージを育み支えるまち。
- 誰もが快適に集い、憩える公園が、地域特性を踏まえて区内にバランスよく配置され、地域の多様な主体とともに育つまち。

### 取組方針

#### 公園を核とした国際アート・カルチャー都市のメインステージの育成

池袋駅周辺では、南池袋公園の再整備をはじめ、区庁舎の跡地活用と連動した公園の再整備、東京芸術劇場と機能連携した野外劇場型の公園の再生、造幣局東京支局跡地を活用した区内最大の防災公園が誕生しています。こうした公園の多様な個性を生かしながら、歩行者優先の魅力あるまちづくりを進めていく必要があります。

4つの公園（池袋西口公園・中池袋公園・南池袋公園・イケ・サンパーク）と周辺の民間施設等が管理運営面で連携し、交流、表現、発信の舞台であり、アート・カルチャー活動の拠点としての機能を高め、多様な主体が参画しながら地域の魅力と価値を高めていきます。

【主な事業】造幣局跡地公園整備事業

#### 地域とともに作り育つ公園づくり

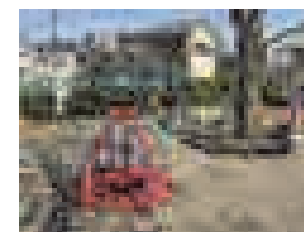
区内には中小規模の公園が数多く点在していますが、他都市と比べ公園の総量は不足しています。既存公園の改修整備や維持管理を進めながら、新たな公園を生み出していく必要があります。

産学公民の連携によるご協力をいただき、公園活用の実証実験や管理手法の検討、緑あふれる新たな公園の整備プランの検討を行いながら、たくさんの人に喜んで利用していただける特色のある公園づくりを進めていきます。

【主な事業】中小規模公園活用事業／（仮称）駒込さくらプロジェクト



イケ・サンパーク（としまみどりの防災公園）の運営



モバイル遊具の設置  
（駒込七丁目第2児童遊園）

### 施策の進捗状況を測る参考指標

成果を測る参考指標	現状値 (2021年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)	活動指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
「近くに好きな公園がある」と思う区民の割合【%】	49.5	55.0	60.0	占用許可を含むイベントや花壇の手入れなどの実施件数【件】	733	805	930

## 施策5-1-2 みどりのネットワークの形成

### 目指すべきまちの姿

SDGsを踏まえた2030年に実現するまちの姿



○公共施設や公園、道路などの公共空間がみどりの拠点として整備が進み、みどりを守り・育てる意識の高い主体の連携を通じ、民有地も含めたみどり地同士が繋がった広がりのあるみどりの景観が築かれているまち。

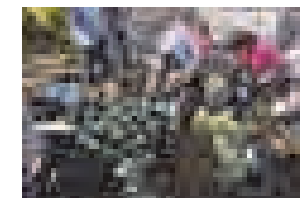
### 取組方針

#### 都市空間の緑化推進

地面の蓄熱防止、都市防災・減災などのみどりの持つ機能をより効果的に発揮させるためには、街のみどり同士がつながり、一体的なひろがりをもたせることが求められています。

公園や公共施設、道路などの緑化を一層進めるとともに、大規模開発時や住宅建て替え時などを活用し、民有地についても緑化を促進します。

〔主な事業〕街路美化事業／緑化推進事業



協定花壇植付（西巣鴨二丁目公園）

#### 多様な主体の連携・協働による緑化の推進

区内全域で緑化の取組を行っている個人・企業等が増えており、民有地も含めた緑化対策を進めていくためにも、個人・団体との連携・協働を進めていくことが求められています。

「グリーンとしま」再生プロジェクト実行委員会による緑化活動を行うほか、個人や団体等の活動を積極的にSNS等で発信するなど、より多くの主体の緑化活動参画を促進します。

〔主な事業〕「グリーンとしま」再生プロジェクト事業／みどりの啓発事業  
池袋西口駅前広場モザイクカルチャー維持管理事業 等



池袋本町電車の見える公園  
「いのちの森」育樹活動

### 施策の進捗状況を測る参考指標

成果を測る参考指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
みどり率【%】	14.1	14.2	14.3

活動指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
幹線道路の街路樹の設置割合【%】	79.0	83.0	87.0

# 環境の保全



## 政策の概要

- 地球温暖化を防止するため、CO<sub>2</sub>排出量やエネルギー消費量の削減に取り組み、脱炭素地域社会づくりを進めます。
- 生物多様性の恵みを将来にわたって享受できるよう、自然生態系を保全し、持続可能な社会の実現に取り組みます。
- 路上喫煙・ポイ捨て防止に関する効果的なパトロールの実施やルール周知啓発に取り組みます。また、継続的かつ地域に根差した美化活動が行えるよう、区民や企業等の多様な主体との連携を図ります。
- 大気汚染、騒音振動等の公害の調査、公害関係法令に基づく届出等の審査、指導並びに公害苦情の処理を迅速かつ適切に実施します。

### 政策と施策の構成

## 5-2 環境の保全

5-2-1 脱炭素地域社会づくりの推進【重点施策】

5-2-2 自然との共生の推進

5-2-3 地域美化の推進

5-2-4 都市公害の防止



## 施策5-2-1 脱炭素地域社会づくりの推進

### 目指すべきまちの姿

SDGsを踏まえた2030年に実現するまちの姿



- 地球への環境負荷を軽減するための、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーへの切り替えが進み、日常生活や事業活動の脱炭素化が進んだまち。
- 区民や事業者の環境課題への関心が高く、各主体が環境負荷に配慮したライフスタイルに転換されたまち。

### 取組方針

#### 再生可能エネルギー導入の促進

気候変動の影響により、世界規模で大規模な自然災害が頻発しており、その主たる要因である温室効果ガスの排出を抑制していくことが不可欠となっています。

区民や事業者に対し、炭素由来のエネルギーに代わる再生可能エネルギーの普及を進め、エネルギー使用に伴う排出量の削減を図ります。

【主な事業】 エコ住宅・事業者普及促進事業／庁内地球温暖化対策事業



エコ住宅・事業者普及促進助成金

#### 区民・事業者の環境配慮行動の促進

家庭やオフィスビル等から排出される温室効果ガスは区全体の排出量の約7割を占めており、一人でも多くの区民や事業所が地球温暖化への関心や意識を高め、省エネルギー・節電を意識した生活・企業活動を促進させる必要があります。

区民や事業者が温室効果ガス削減に取り組めるよう、エコ住宅設備等の導入支援を行います。また環境問題の啓発活動の実施や、環境にやさしい行動促進（クール・チョイス）の周知等により環境配慮行動を促進します。

【主な事業】 クール・チョイス（COOL CHOICE）推進事業／環境教育・啓発事業



クール・チョイス啓発  
（としまエコライフフェア）

### 施策の進捗状況を測る参考指標

成果を測る参考指標	現状値 (2018年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
区内温室効果ガス排出量 【千 t -CO <sub>2</sub> 】	1,580	1,181	900

活動指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
再生可能・省エネルギー機器等 導入助成累計【件】	2,192	2,800	3,500



## 施策5-2-2 自然との共生の推進

### 目指すべきまちの姿

SDGsを踏まえた2030年に実現するまちの姿



- 高度に都市化が進んだ中でも、公園や公共施設などの自然生態系が保全され、多様な生きものが生息しつづけるまち。
- 安らぎや潤いを与える自然環境に触れ合う機会が提供され、区民が生物多様性を理解し、生態系の調査・学習活動に主体的に参画するまち。

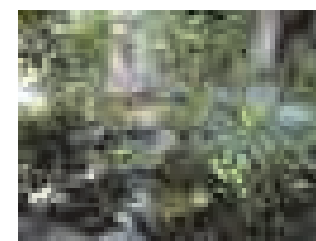
### 取組方針

#### 自然環境の保全と創出

地球上に生存する生きもののうち1年間に約4万種が絶滅しており、都市においても貴重な生態系を保全し、多様な生物の生息を確保していくことが求められています。

生きものが生息しやすいみどりや水辺等を保全するとともに、新たな生態環境を創出し、みどりと水のネットワークを形成します。また、保全団体の活動支援や相互連携を推進します。

〔主な事業〕グリーンとしま再生プロジェクト事業 / 生物多様性支援事業



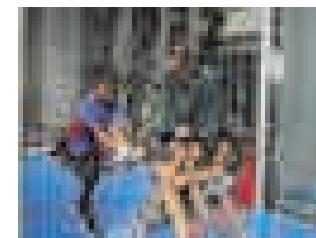
仰高小学校ビオトープ

#### 学習・参加機会の提供

多様な生態系が維持されていることにより、私たちの日常生活は様々な恩恵を受けていますが、その重要性に対する区民理解はまだ、進んでいない状況です。

区民参加型の生態調査の実施や学校の環境教育を活用した体験学習、カーボンオフセット実施都市との交流事業、庁舎屋上の豊島の森見学会などにより、実際の自然を体験する機会を増やしていきます。

〔主な事業〕生物多様性支援事業 / 環境教育・啓発事業 / 自治体間連携によるカーボンオフセット事業



協定自治体との環境交流事業

### 施策の進捗状況を測る参考指標

成果を測る参考指標	現状値 (2021年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)	活動指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」と思う区民の割合【%】	11.6	14.3	17.4	生きもの調査等に参加する区民（累計）【人】	687	883	1,258

## 施策5-2-3 地域美化の推進

### 目指すべきまちの姿

SDGsを踏まえた2030年に実現するまちの姿



- 喫煙・ポイ捨てに関するルールの徹底により、路上喫煙やポイ捨てが減少し、生活環境が良好に保たれ、安全で快適に過ごすことができるまち。
- 区民一人ひとりの環境美化に対する意識が高まり、多様な主体との協働による美化活動を通じて、地域的美観が維持された、さわやかな住みよいまち。

### 取組方針

#### 路上喫煙・ポイ捨て防止対策の推進

路上喫煙やポイ捨てに関するルールの普及啓発を進めていますが、依然として苦情が多く寄せられているため、受動喫煙対策も踏まえ、喫煙者のモラルやマナーの向上に向けたさらなる取組が必要です。

効果的なパトロールの実施や使いやすい喫煙場所を提供し、たばこの火による事故や煙の分散を防ぐとともに、区におけるルールの周知や啓発活動を行います。

〔主な事業〕 路上喫煙・ポイ捨て防止事業 / 路上喫煙・ポイ捨て防止パトロール



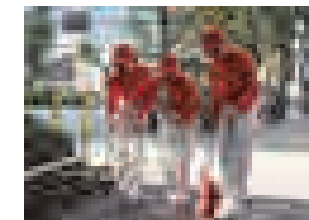
路上喫煙・ポイ捨て防止パトロール

#### 多様な主体による環境美化活動の推進

地域での環境美化活動を推進していますが、継続的な活動や区および活動主体間での連携に至っていないため、その改善が必要です。

まちの美化活動をさらに継続・発展させていくため、まちの美化に対する区民等の意識向上につながる取組を強化するとともに、多様な主体との連携を深める仕組みづくりや地域に根差した環境美化活動の促進を図ります。

〔主な事業〕 環境美事業 / もっときれいな街づくり推進事業（としまシルバースターズ）



としまシルバースターズ

### 施策の進捗状況を測る参考指標

成果を測る参考指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)	活動指標	現状値 (2019年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
路上喫煙率【%】	0.05	0.04	0.03	環境美化に関する活動への参加人数【人】	14,984	18,000	19,000

## 施策5-2-4 都市公害の防止

### 目指すべきまちの姿

SDGsを踏まえた2030年に実現するまちの姿



- 大気汚染状況の改善により光化学スモッグが発生することなく、快適な大気環境のまち。
- 工事の際の騒音振動や石綿（アスベスト）飛散による環境リスクの低減が図られ、安全で安心して暮らせるまち。

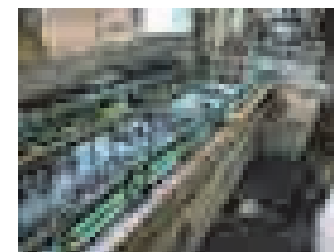
### 取組方針

#### 快適な大気環境の実現

都内の大気汚染状況は改善傾向にありますが、光化学オキシダントに関しては環境基準が達成できておらず、光化学スモッグが発生しているため、その原因物質であるVOC（揮発性有機化合物）の発生を抑制する必要があります。

事業者等に対する指導や周知啓発により、VOC（揮発性有機化合物）の排出抑制を推進します。

【主な事業】 化学物質の調査・適正管理



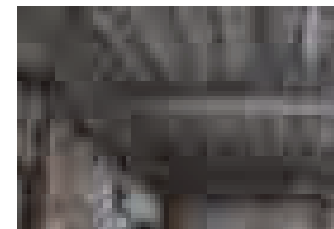
VOC取扱工場

#### 工事現場における環境リスクの低減

建築物の解体工事件数は増加傾向にあり、騒音振動や石綿（アスベスト）飛散に関する相談や苦情が増加することが予想されるため、工事現場における環境リスクをより低減する取組が必要です。

解体工事現場への立入検査により、騒音振動や石綿（アスベスト）対策に関する事業者の適切な施工及び法令順守の徹底を推進するとともに、区民からの相談や苦情に迅速に対応します。

【主な事業】 化学物質の調査・適正管理



吹付けアスベスト

### 施策の進捗状況を測る参考指標

成果を測る参考指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
VOC（揮発性有機化合物） 排出量【kg】	9,273	8,340	7,500

活動指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
解体工場現場への 立入検査件数【件】	61	260	360

ごみ減量・清掃事業の推進



## 政策の概要

- 循環型社会の実現のため、リデュース、リユースの優先的実践と質の高い先進的なリサイクルにより、さらなるごみの減量を図ります。
- 排出者一人ひとりが責任を持って行動し、廃棄物の発生抑制、再資源化及び適正処理を進めます。

### 政策と施策の構成

#### 5-3 ごみ減量・清掃事業の推進

5-3-1 3Rの推進【重点施策】

5-3-2 安定的で適正なごみ処理の推進

## 施策5-3-1 3Rの推進

### 目指すべきまちの姿

SDGsを踏まえた2030年に実現するまちの姿



- 区民・事業者・区が、生産・消費・廃棄の各局面において、ごみの減量と資源化に高い意識を持ち行動するまち。
- 持続可能な循環型社会を実現するために、質の高い先進的なリサイクルを推進するまち。

### 取組方針

#### リデュース・リユースの意識啓発の充実

ごみ量の減少や環境負荷の低減を進めるには、3Rの中でも、特にリデュースやリユースを優先することの意識啓発を積極的に行うことが重要です。

リデュース、リユースの優先的実践を促すため、従来の冊子やイベント等による啓発に加え、SNS等の多様な情報媒体を活用し、意識啓発と行動変容を促進します。

【主な事業】 3R推進啓発事業／集団回収事業／資源回収事業／食品ロス削減推進事業

#### 先進的なリサイクルと分かりやすい分別の推進

国の新たな法制度の動きやSDGs未来都市の選定を受け、さらなるごみの減量とCO<sub>2</sub>の削減を目的とした先進的なリサイクルへの取組が求められています。

区民にとって分かりやすい分別・排出方法に配慮しつつ、国の新制度に沿った「プラスチック資源の分別収集」を導入していきます。

【主な事業】 3R推進啓発事業／資源回収事業／不燃ごみの資源化事業／プラスチック分別収集モデル事業



プラスチック資源の分別収集（イメージ）

### 施策の進捗状況を測る参考指標

成果を測る参考指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
区民一人1日あたりのごみ量【g/人日】	520	482	470

活動指標	現状値 (2021年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
3Rに関して発信した件数【回】	48	56	66



## 施策5-3-2 安定的で適正なごみ処理の推進

### 目指すべきまちの姿

SDGsを踏まえた2030年に実現するまちの姿



- 適正なごみ処理により、美観と衛生が保たれた快適な都市空間の中で区民がいきいきと暮らすまち。
- 廃棄物を持続的かつ安定的に処理するため、排出者一人ひとりが責任をもって行動するまち。

### 取組方針

#### 美観と衛生が保たれた快適な都市空間の構築

集積所への不法投棄をはじめとして、有害物質の不適正処理、事業系ごみの不適正排出など、ルールを守らないごみ処理が後を絶ちません。また、近年多発している大規模災害においても適正にごみを処理することが求められています。

排出指導や巡回パトロールを強化し、適正分別・適正排出を徹底していきます。また、災害時に廃棄物を円滑に処理するため、災害廃棄物処理基本計画の周知と体制の整備を図ります。

【主な事業】 廃棄物排出指導業務／不法投棄対策事業

#### 分別ルールや排出マナーの遵守

環境負荷の低減、最終処分場の延命化、清掃工場の安定稼働が求められる中、廃棄物を持続的かつ安定的に処理し続けるためには、排出者一人ひとりの責任ある行動が必要です。

小学生への出前講座、町会の清掃担当者会、商店街連合会等と連携しての普及啓発のほか、多様な媒体や多言語による発信等により、分別ルールの徹底や排出マナーの遵守等を働きかけていきます。

【主な事業】 計画推進事業／廃棄物排出指導業務／不法投棄対策事業



不法投棄の巡回パトロール

### 施策の進捗状況を測る参考指標

成果を測る参考指標	現状値 (2021年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)	活動指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」と思う区民の割合【%】	62.2	66.0	71.0	不法投棄回収件数【件】	4,303	4,050	3,800

